

# 令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立湊小学校
校長氏名	川崎 ゆき
作成日	令和5年3月6日

## 1 教育目標

人間性豊かで、たくましい子どもの育成
--------------------

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国並びに県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る</li> <li>・毎日の授業がわかる(児童90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しいと感じる(児童90%)</li> <li>・友達と仲良くしている(児童90%)</li> <li>・命の大切さを教えてもらっている(児童100%)</li> <li>・いじめの解消率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝ごはんを食べた(児童100%)</li> <li>・体力テストの結果が全国平均と同等となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)</li> <li>・幼稚園、中学校区で接続、連携した取組を実践できた(教師90%)</li> </ul>
重点目標 【B】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の基礎・基本の定着</li> <li>○自分の考えを書く・話す力の育成</li> <li>○家庭学習(読書を含む)・補充学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳・人権教育の充実</li> <li>○いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○縦割り活動等を活かした思いやりの心の醸成や挨拶の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力向上の推進</li> <li>○基本的な生活習慣の確立</li> <li>○危険回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校・家庭・地域との連携・協力の維持</li> <li>○学校運営協議会の推進と活用</li> <li>○地域の人材、地域の自然文化の活用</li> </ul>
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員全員が研究授業を行った。</li> <li>○各教員が児童に対し、学習のルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図った。</li> <li>○家庭学習の手引きを配付し、自主学習等の家庭学習の定着を図った。</li> <li>○第1土曜をうちどくの日として家庭読書を宿題にし、読書貯金の表彰も行った。</li> <li>○放課後の補充学習を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業参観で道徳の授業を見ていただき、講演会では、子供の心を育てる大切さを考えた。</li> <li>○いじめアンケートを各学期に1回、年3回実施した後、子供から聞き取り、いじめを解消した。</li> <li>○各学年、いじめをなくすための取組をまとめ、保護者に配付した。</li> <li>○児童の様子を観察し、職員会議で話し合い、いじめ未然防止、早期発見に努めた。</li> <li>○縦割り遊び、縦割り遠足、体力テスト・なわとび記録会も縦割りで実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動会、マラソン大会、なわとび記録会等体育的行事の実施及びそれに関連させた授業を行った。</li> <li>○休憩時間の外遊びを励行した。</li> <li>○生活習慣調査(ドラドラ貯金)を実施し、課題ある児童、保護者へ改善に向けた助言を行った。</li> <li>○火事・地震・津波・不審者に対応する避難訓練を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者や地域からの協力・支援による様々な行事の実施。</li> <li>○登下校時、見守り隊の方との挨拶。</li> <li>○図書ボランティアによる本の修繕・図書室の整備。</li> <li>○ゲストティーチャーによる湊太鼓、生姜づくり、校区たんけん、防災学習、昔からの遊び、老人会の方との交流、家庭科ボランティアによるミシン学習</li> </ul>
取組の成果と課題 (評価結果)【C】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力調査の平均正答率は県平均と比較して、算数は3ポイント高く、理科は同じ。国語は3ポイント低く、自分の考えを文中の言葉を取り上げて80字以内という条件を満たして書くことに課題が見られた。</li> <li>○研究授業後の活発な研究協議によって、考えを書く・話す・話し合う活動について、指導力を高めることができた。</li> <li>○読書貯金カードを活用し、表彰することによって、1・2年生の読書量が伸びた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年92.5%、中高学年93.1%の児童は学校が楽しいと感じている。</li> <li>○低学年97.5%、中高学年98.6%の児童は友達と仲良くしていると感じている。</li> <li>○低学年95.0%、中高学年100%の児童が、命の大切さや社会のきまりについて教えてもらっていると実感している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なわとび記録会に向けて、休憩時間も練習する姿が見られた。</li> <li>○なわとび記録会(全学年)やマラソン大会(高学年)等に、多くの児童が積極的に取り組み、体力向上に努めた。</li> <li>○生活習慣調査でほぼ100%の児童が朝食を食べていると回答し、保護者の意識の高さが表れている。</li> <li>○体力は、上体起こし・長座体前屈・20mシャトルランなどは全国平均を超える学年もあったが、50m走については6年女子以外課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校の安全を見守ってくださっている見守り隊の方へ感謝の気持ちをカードに書き、送ることができた。</li> <li>○地域の方から学ぶことによって、湊を愛し誇りに思う気持ちが育っている。</li> <li>○湊幼稚園と1年生の交流を各学期に1回ずつ実施した。</li> </ul>
改善方法 【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケートの結果、毎日の勉強がわかると答えた低学年児童は82.5%、中高学年児童は88.9%であった。基礎的な学習が身につけていると回答した保護者は79.2%であった。わかりやすい授業の実践、補充学習の充実、家庭学習の協力をいただき、児童の学力向上をめざしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめをなくす学級の取組を保護者に文書配付したり懇談会で伝えたりすることによって、73.6%の保護者が取り組んでいると回答した。(昨年度64.3%)</li> <li>○一人一人が大切にされ認められる学校になっていると回答した保護者も79.2%となり昨年度よりも評価が上がった。(昨年度69.4%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の体力向上を更に図っていく。</li> <li>○早寝・早起き・朝ごはんを更に推進する。</li> <li>○家庭で決めたゲーム時間を守るように促していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会を更に充実させる。</li> <li>○学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えていくと回答した保護者が85.8%で昨年度よりも評価が上がった。(昨年度75.5%)</li> </ul>

## 3 その他の課題

--